

# 親子で考える 平和の大切さ

夏休みは、8月6日の広島への原子爆弾投下の日、8月9日の長崎への原子爆弾投下の日、そして8月15日の終戦記念日など、平和について考える機会が多くあります。

子どもたちは、平和集会や各学級での平和学習を通して、子どもたちが戦争の悲惨さや命の大切さ、平和の尊さについて学びました。学校での学びと、ご家庭での語り合いが結びつくことで、子どもたちの学びはより確かなものになっていくと考えています。

本校では、学校運営協議会とともに、「親子で語り合う時間」を大切にした取組を進めています。



ご家庭でも「平和とは何だろう」「命を大切に  
するとはどういうことだろう」「相手を思い  
やるとはどういうことだろう」など、親子で話  
し合う時間をつくってみてはいかがでしょうか。

食事の時間やテレビのニュースを見た後など、  
何気ない会話の中にも、子どもたちの心を育む  
大切な学びがあります。学校と家庭が同じ思い  
で子どもたちを育んでいくことが、豊かな心を  
育てることにつながります。この夏休みが、ご  
家族で平和や命の大切さについて語り合う、温  
かな時間となることを願っています。

